

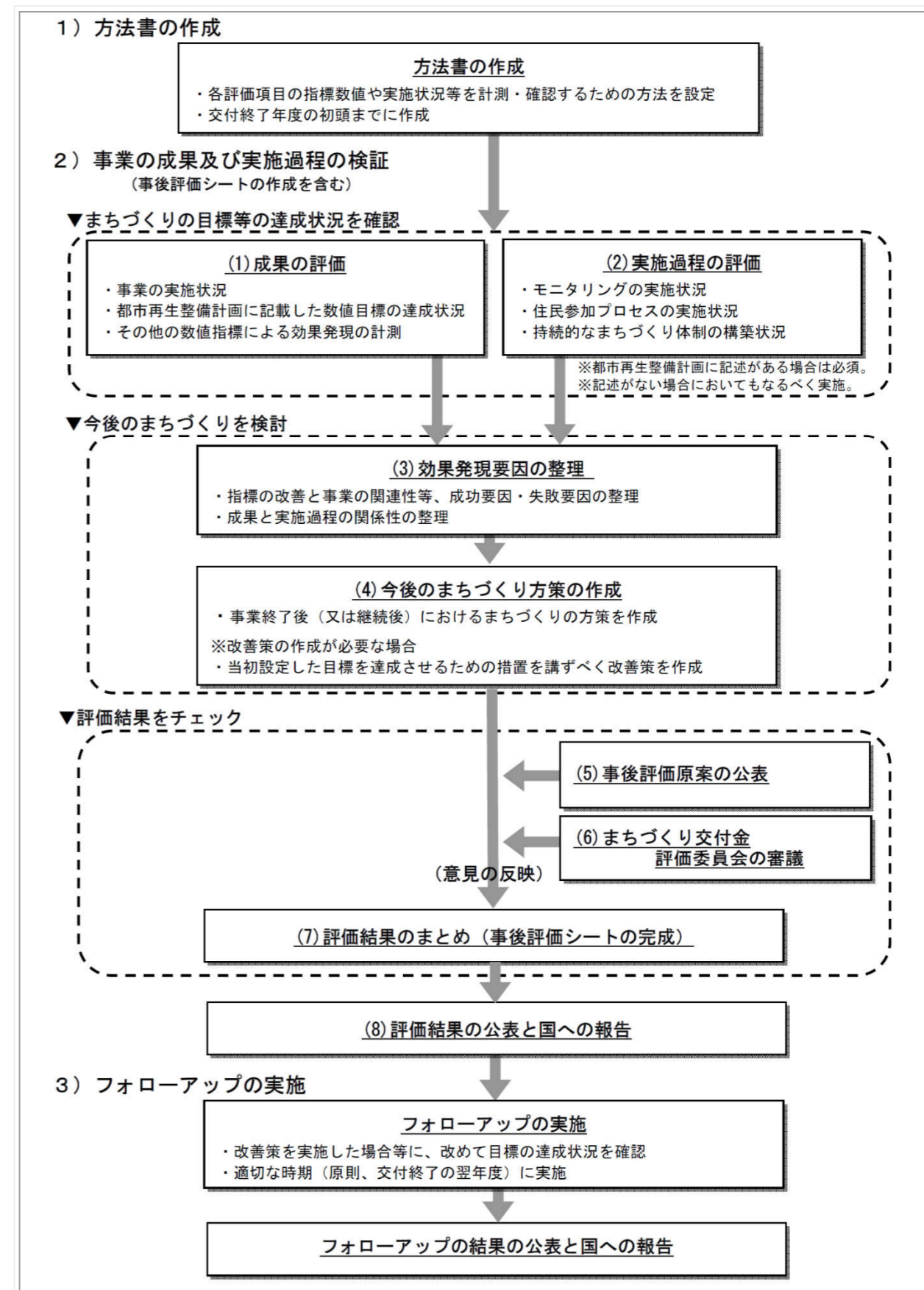
# 都市再生整備計画事業 北国街道今庄宿地区 (平成26年度 ~ 平成29年度) 事後評価の概要

|   |                         |   |    |
|---|-------------------------|---|----|
| 1 | 事後評価制度の概要               | P | 1  |
| 2 | まちづくりの経緯（都市再生整備計画事業の概要） | P | 2  |
| 3 | 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）     | P | 6  |
| 4 | 実施過程の評価                 | P | 12 |
| 5 | 効果発現要因の整理               | P | 13 |
| 6 | 今後のまちづくり方策の検討           | P | 14 |

平成31年3月  
南越前町 観光まちづくり課

# 1 事後評価制度の概要

|                  |  |
|------------------|--|
| <p>事後評価の位置づけ</p> | <p>事後評価はPDCAサイクルによる事業評価制度の一環として実施されるもので、その後のまちづくりに活かすための作業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの課題 → 課題は解決されたか？</li> <li>まちづくりの目標 → 目標は達成できたか？</li> <li>目標を定量化する指標・数値目標 → 計画どおりにできたか？</li> <li>目標を達成するために実施する事業 → 改善すべき点はあるか？</li> <li>改善策の実施 → 効果持続のために何をするか？</li> </ul> <p><b>改善策の実施</b><br/>まちづくりの継続<br/>次期計画へ反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆まちづくりの効果を事業後も継続させる</li> <li>◆成功体験、失敗体験を次のまちづくりの教訓にする</li> </ul> |
| <p>事後評価の目的</p>   | <p>事業がもたらした成果等を客観的に診断して、今後のまちづくりを適正な方向に導くこと、および事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的とする。</p>  |
| <p>事後評価の内容</p>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>① まちづくりの目標の達成状況等の確認<br/>まちづくりの目標の達成状況、および実施過程の検証を行う。</li> <li>② 今後のまちづくり方策の検討<br/>まちづくりの目標の達成状況を踏まえ、事業効果の発現要因を整理し、今後のまちづくり方策を検討する。</li> <li>③ 事後評価のチェック<br/>事後評価の透明性・合理性・客観性を担保するために、評価結果を町民に公表し、意見を適切に反映すると共に、学識経験者を含む第三者で構成される「評価委員会」を開催し、その審議を経る。</li> </ol>   |
| <p>評価委員会の目的</p>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事後評価が適切に運用されているかどうかを確認いただき、実施事項に対して指導・助言をいただく。</li> <li>② 今後のまちづくり方策等について意見をいただく。</li> </ol>  |



## 2 まちづくりの経緯（都市再生整備計画事業の概要）

### （1）まちづくりの経緯および現況・課題

南越前町は、福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は、越前市、越前町と池田町、東および南は岐阜県・滋賀県、西は敦賀市と日本海に接している。山・海・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町であるが、地形は極めて急峻であり、総面積の約92%が山林で占められる。また、田倉川や鹿蒜川などが合流した日野川が町の中央を南北に流れ、河川沿いに田園風景が広がっている。道路は、北陸自動車道や国道8号、国道365号といった北陸地方と関西・中京方面を結ぶ動脈となる道路が町の南北を縦走し、北陸自動車道今庄インターチェンジ、南条スマートインターチェンジが設置されている。鉄道も、JR北陸本線が幹線道路同様に南北に縦走し、南条、湯尾、今庄、南今庄の4駅が設置され、福井市・越前市方面や敦賀市方面に向かう通勤通学など日常生活に欠かせない役割を果たしている。

平安時代に敦賀から木ノ芽峠を越える「北陸道」が開かれ、近世には栃ノ木峠越えの「北陸街道」が整備されると北国街道今庄宿が整備され、本陣が置かれるなど、都と北陸を結ぶ玄関口として賑わいを見せた。その後、明治29年には、町の中央の日野川に沿うように国鉄北陸本線が開通し、今庄駅には機関区が置かれ、「鉄道のまち」として賑わいをみせたが、昭和37年の北陸トンネルの開通と複線電化により、今庄機関区はその役割を終えている。北国街道今庄宿においては、江戸時代から続く旅館や造り酒屋（現在でも4件が創業）が残り、伝統的民家群保存活用推進地区に指定されているが、人口・世帯数の減少、高齢化の進展、空き家・空き地の増加が著しい。特に、宿場町の時代背景に起因して借地が多いこと、全国でも有数の豪雪地帯であり、屋根雪下ろし等の維持管理の問題から、袖卯建や登り梁に代表される伝統的な民家が除却され、固有の町並み景観が崩れ始めている。

このような背景のもと、平成25年度から、平成26年度の北陸新幹線長野・金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を見据え、交通インフラの整備に伴う立地条件や、造り酒屋やそば、吊るし柿などの固有の地域資源を最大限に活かし、魅力ある個性的な観光地としてのスケールアップを図ることにより、地域の活性化を推進することを目的として、景観、店舗、歴史、誘客、空き家対策の5部会を設置し、主体的な部会活動を開催しながら、北国街道今庄宿を将来に引き継いでいくビジョンづくりを進めてきている。

#### 【課題】

- 空き家・空き地の増加、伝統的民家の減少、固有の町並み景観の喪失
- 人口・世帯数の減少、移住希望者とのネットワークづくり
- 次世代への歴史・文化の継承
- 来訪者の呼び込み、質の高い誘客の展開、戦略的な情報発信
- 持続的な住民主体のまちづくり活動の展開と組織体制づくり

### （2）まちづくりの目標

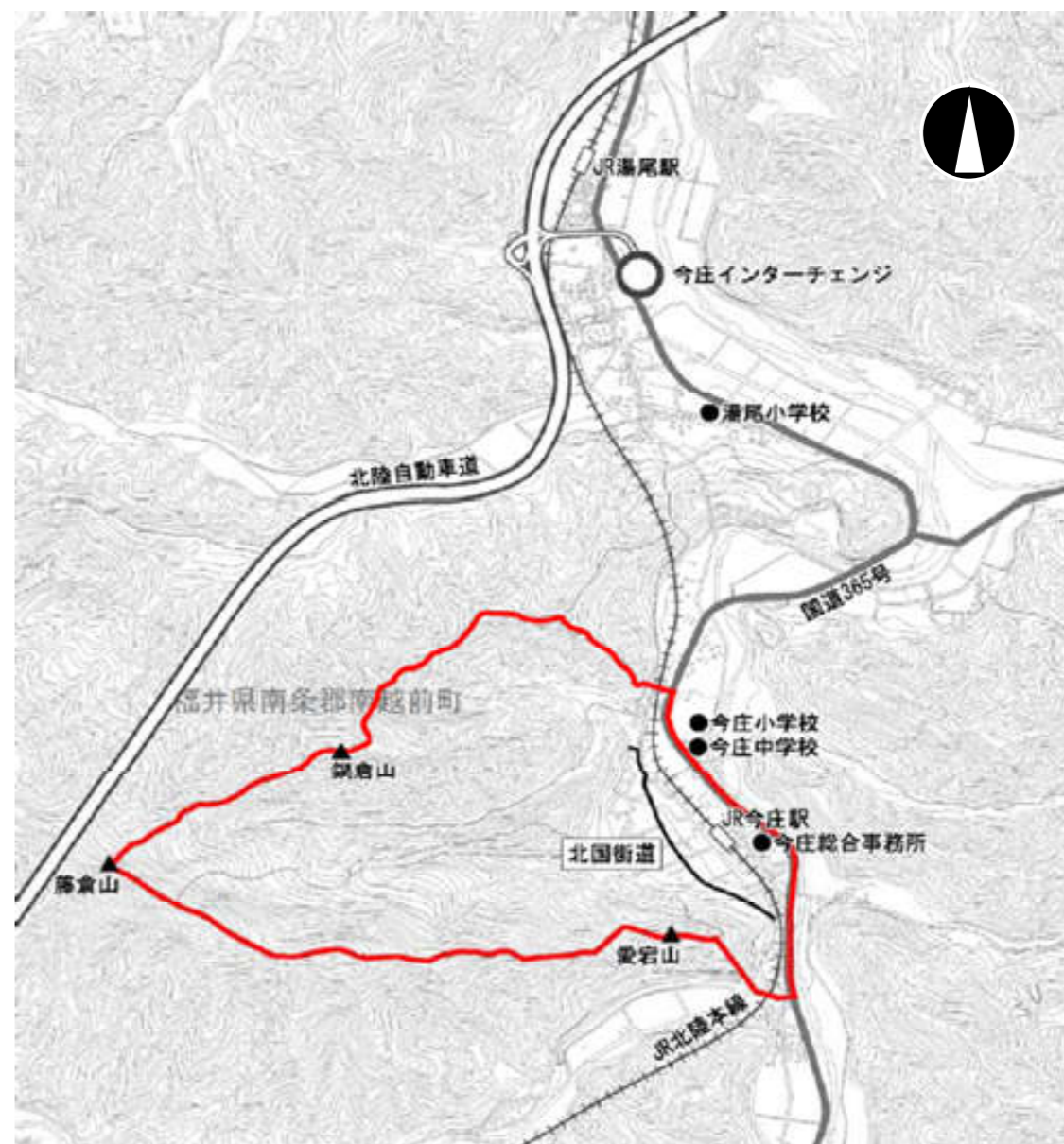
|     |   |
|-----|---|
| 大目標 | 北国街道今庄宿の町並みを守り、センス良く整えつつ、戦略的に来訪者を呼び込む取組みを住民主体で進める「心をつなぐ、歴史の足跡とおだやかな時の流れを感じるまちづくり」 |
| 目標1 | 固有の町並みを守り、センス良く整え、次世代に歴史と文化を継承する  |
| 目標2 | 特徴を最大限に活かして来訪者を呼び込む   |
| 目標3 | 実現に向けて戦略的に施策展開を行う   |

### （3）目標を定量化する指標

| 指標                     | 従前値                  | 目標値                  |
|------------------------|----------------------|----------------------|
| 今庄観光ボランティアガイド協会ガイド案内客数 | 1,206人/年<br>(平成24年度) | 1,400人/年<br>(平成29年度) |
| JR今庄駅乗車人員              | 185人/日<br>(平成24年度)   | 210人/日<br>(平成29年度)   |

### 都市再生整備計画の区域図

| 区域の位置     | 区域面積   | 計画期間          |
|-----------|--------|---------------|
| 北国街道今庄宿地区 | 約350ha | 平成26年度～平成29年度 |

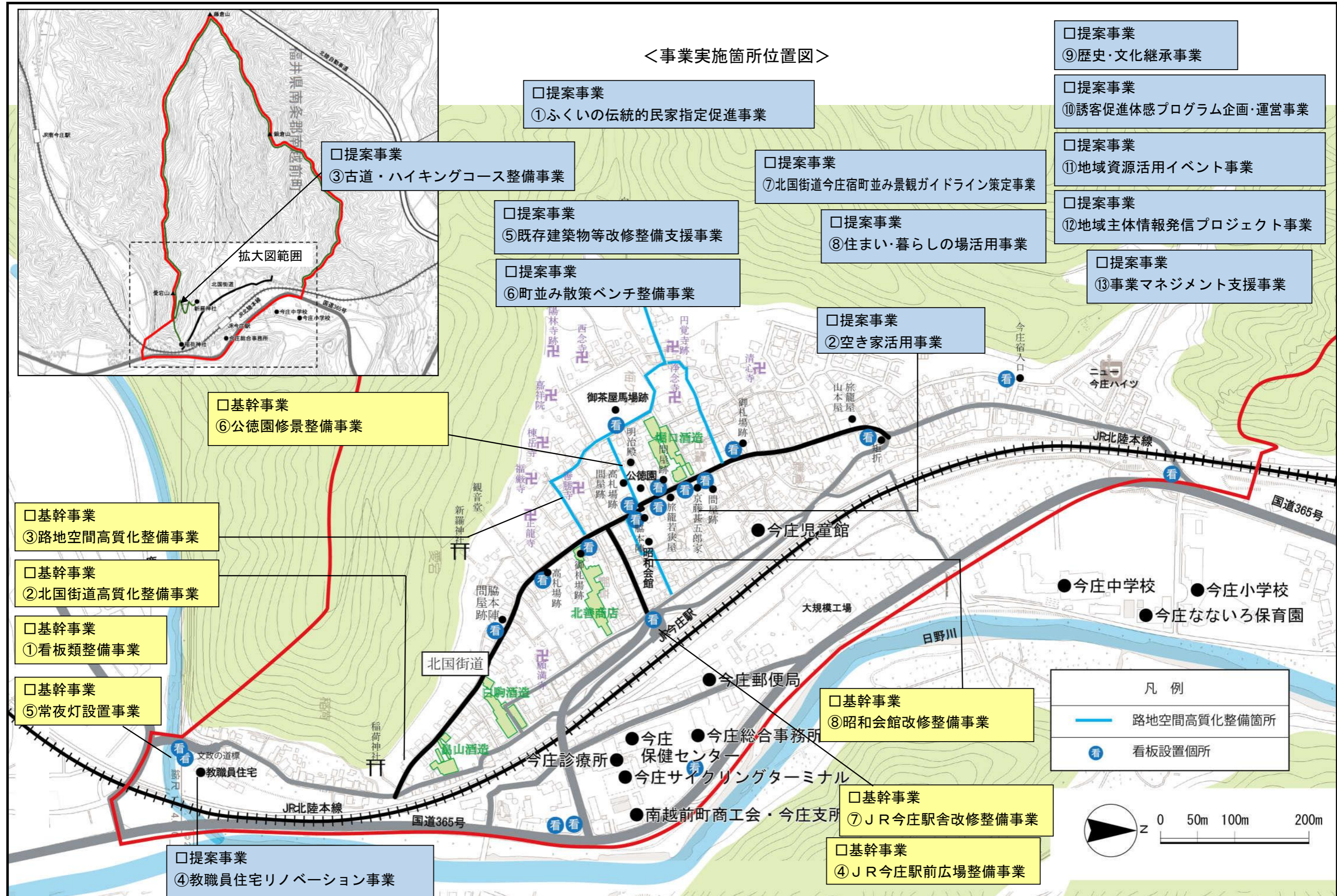


(4) 交付対象事業一覧

| 基幹事業      |                               | 現計画の概要       |                    | 事業実施状況   |          | 提案事業<br>事業内容      |                             | 現計画の概要       |                      | 事業実施状況   |          |
|-----------|-------------------------------|--------------|--------------------|----------|----------|-------------------|-----------------------------|--------------|----------------------|----------|----------|
|           |                               | 事業費<br>(百万円) | 事業内容               | 完成<br>年度 | 完成<br>見込 |                   |                             | 事業費<br>(百万円) | 事業内容                 | 完成<br>年度 | 完成<br>見込 |
| 地域生活基盤施設  | ① 看板類整備事業                     | 18           | 20 基               | H29      | 完成       | 地域創造支援<br>事業      | ①ふくいの伝統的民家指定促進事業            | 1            | -                    | H29      | 完成       |
|           |                               |              |                    |          |          |                   | ②空き家活用事業                    | 119          | -                    | H29      | 完成       |
| 高質空間形成施設  | ②北国街道高質化整備事業<br>(北国街道)        | 87           | L=1,001m           | H28      | 完成       |                   | ③古道・ハイキングコース整備事業            | 11           | L=347m               | H28      | 完成       |
|           | ③路地空間高質化整備事業<br>(町道今庄寺道線他7路線) | 43           | L=844m             | H29      | 完成       |                   | ④教職員住宅リノベーション事業             | 42           | 372.3 m <sup>2</sup> | H27      | 完成       |
|           | ④JR今庄駅前広場整備事業<br>(JR今庄駅周辺)    | 48           | 500 m <sup>2</sup> | H29      | 完成       |                   | ⑤既存建築物等改修整備支援事業             | 3            | -                    | H29      | 完成       |
|           | ⑤常夜灯設置事業<br>(文政の道標周辺)         | 2            | 1 箇所               | H26      | 完成       |                   | ⑥町並み散策ベンチ整備事業               | 0.4          | 22 基                 | H27      | 完成       |
|           | ⑥公德園修景整備事業<br>(旧本陣跡)          | 6            | 1 箇所               | H27      | 完成       | 事業活用調査            | ⑦北国街道今庄宿町並み景観<br>ガイドライン策定事業 | 2            | -                    | H26      | 完成       |
|           | ⑦JR今庄駅舎改修整備事業                 | 130          | 384 m <sup>2</sup> | H28      | 完成       |                   | ⑧住まい・暮らしの場活用事業              | 0.5          | -                    | H29      | 完成       |
| 既存建造物活用事業 | ⑧昭和会館改修整備事業                   | 204          | 2 棟                | H29      | 完成       | まちづくり活動<br>推進事業   | ⑨歴史・文化継承事業                  | 2            | -                    | H29      | 完成       |
|           |                               |              |                    |          |          |                   | ⑩誘客促進体感プログラム企画・運営<br>事業     | 0.9          | -                    | H26      | 完成       |
|           |                               |              |                    |          |          |                   | ⑪地域資源活用イベント事業               | 6            | -                    | H29      | 完成       |
|           |                               |              |                    |          |          | ⑫地域主体情報発信プロジェクト事業 | 7                           | -            | H29                  | 完成       |          |
|           |                               |              |                    |          |          | ⑬事業マネジメント支援事業     | 12                          | -            | H29                  | 完成       |          |
| 合計        |                               | 537          | -                  | -        | -        | 合計                |                             | 204          | -                    | -        | -        |

※百万円以下四捨五入表記のため合計が合わない場合がある。

<事業実施箇所位置図>



- 提案事業  
⑨歴史・文化継承事業
- 提案事業  
⑩誘客促進体感プログラム企画・運営事業
- 提案事業  
⑪地域資源活用イベント事業
- 提案事業  
⑫地域主体情報発信プロジェクト事業
- 提案事業  
⑬事業マネジメント支援事業

- 提案事業  
①ふくいの伝統的民家指定促進事業
- 提案事業  
③古道・ハイキングコース整備事業
- 提案事業  
⑤既存建築物等改修整備支援事業
- 提案事業  
⑥町並み散策ベンチ整備事業
- 提案事業  
⑦北国街道今庄宿町並み景観ガイドライン策定事業
- 提案事業  
⑧住まい・暮らしの場活用事業

- 基幹事業  
⑥公徳園修景整備事業

- 基幹事業  
③路地空間高質化整備事業

- 基幹事業  
②北国街道高質化整備事業

- 基幹事業  
①看板類整備事業

- 基幹事業  
⑤常夜灯設置事業

- 提案事業  
④教職員住宅リノベーション事業

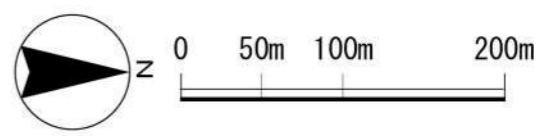
- 基幹事業  
⑧昭和会館改修整備事業

- 基幹事業  
⑦JR今庄駅舎改修整備事業

- 基幹事業  
④JR今庄駅前広場整備事業

凡例

- 路地空間高質化整備箇所
- 看板設置箇所



(5) 実施した事業の整備概要

【基幹事業】②北国街道高質化整備事業



道路の舗装や外灯設置により、かつての宿場町の雰囲気づくりを行いました。

【基幹事業】⑥公德園修景整備事業



明治殿や昭和会館等の文化財や、景観を守る整備を行いました。

【基幹事業】⑧昭和会館改修



【提案事業】②空き家活用事業



伝統的民家を後世に引き継いでいくための改修を行いました。

【基幹事業】③路地空間高質化整備事業



【基幹事業】⑤常夜灯設置事業



かつての宿場町の風情を感じる常夜灯を設置しました。

【基幹事業】①看板類整備事業



観光案内のほか、統一したデザインの説明案内や誘導看板を設置しました。

【基幹事業】④JR今庄駅前広場整備事業



【基幹事業】⑦JR今庄駅舎改修整備事業

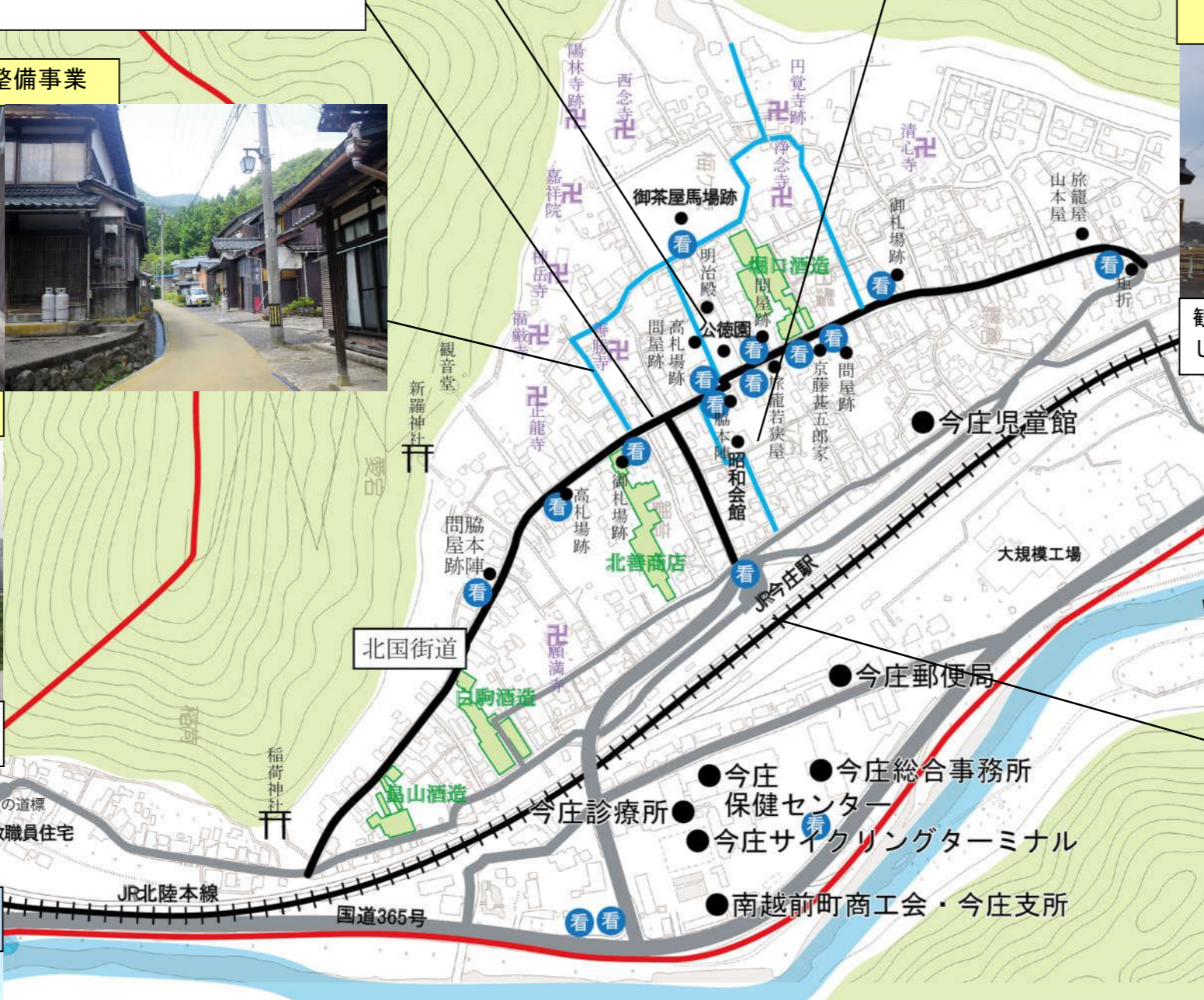


JR今庄駅舎改修に併せて「宿場」と「鉄道」で栄えた歴史を映像や模型などの展示により紹介する情報館や駅前広場を整備しました。

【提案事業】④教職員住宅リノベーション事業



既存施設活用と移住・定住人口増加促進のため教職員住宅を景観に配慮したリノベーションを行いました。



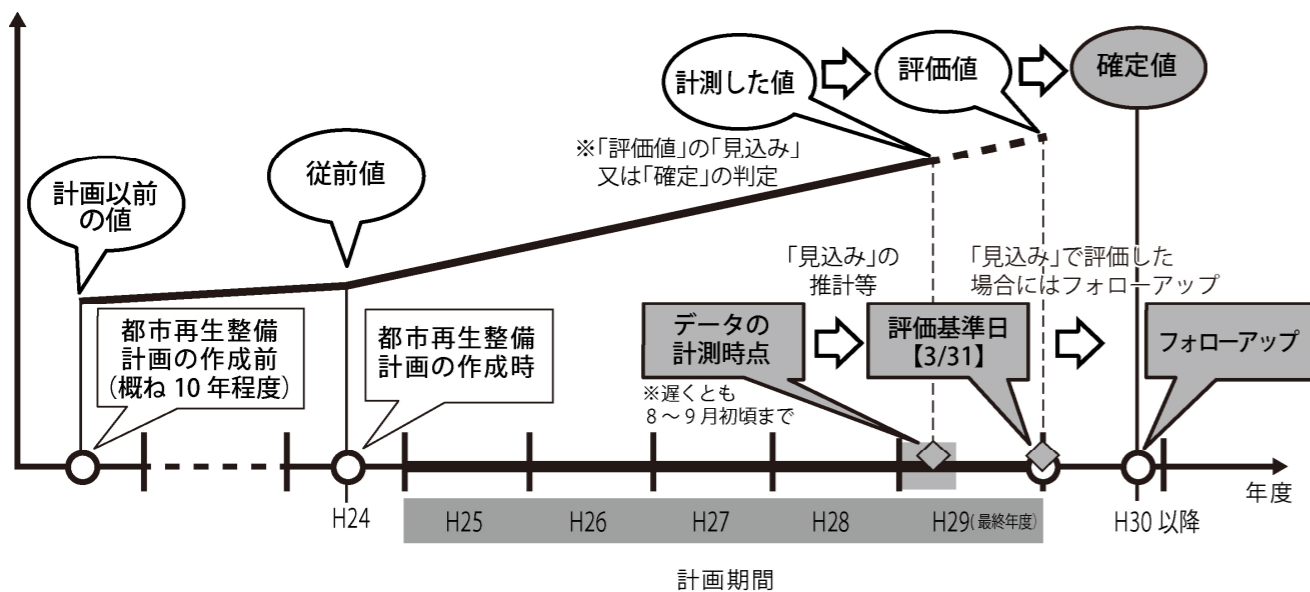
### 3 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）

| 指標                            | 従前値<br>(基準年度)      | 目標値<br>(基準年度)      | 評価値<br>(評価基準日)         | 目標<br>達成度 | 1年以内の<br>達成見込 |
|-------------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|-----------|---------------|
| 1. 今庄観光ボランティアガイド協会<br>ガイド案内客数 | 1,206人/年<br>(H24年) | 1,400人/年<br>(H29年) | 5,375人/年<br>(H30.3.31) | ○         | —             |
| 2. JR今庄駅乗車人員                  | 185人/日<br>(H24年)   | 210人/日<br>(H29年)   | 162人/日<br>(H30.3.31)   | ×         | なし            |

#### ■ 目標達成度の評価の基準

| 目標達成度の評価の基準                               | 達成度 |
|---|-----|
| 評価値が目標値を上回った場合                            | ○   |
| 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合 | △   |
| 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合       | ×   |

#### ■ 評価基準日の考え方

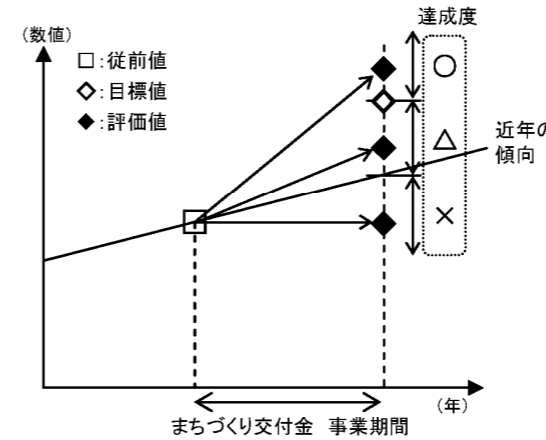


#### 【参考：目標達成度の考え方】

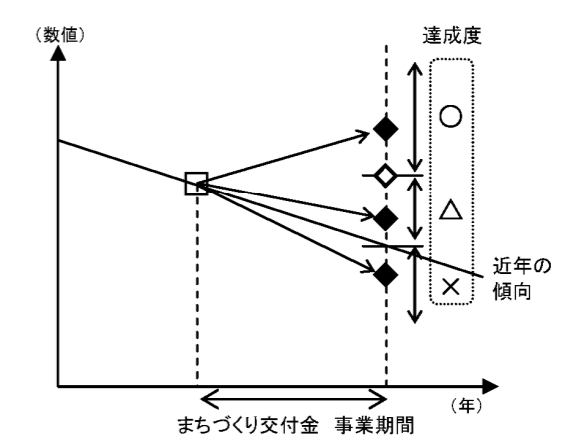
- ・数値目標が事後評価の時点で達成されたか否かは、「達成度」をもって検証する。
- ・「達成度」は○、△、×の記号により評価を行うが、その概念は下図に示す通り、目標値（◇）と評価値（◆）との間の差の大きさ（絶対値）と位置関係（目標値よりも上か下か）により市町村が判断するものとします。

| 評価の基準                                       | 達成度 |
|---|-----|
| ① 評価値が目標値を上回った場合                            | ○   |
| ② 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合 | △   |
| ③ 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合       | ×   |

■ 近年の傾向が増加基調の指標の場合の例



■ 近年の傾向が減少基調の指標の場合の例



- ・なお、○、△、×を判定する目安として、次の式による「達成指数」を参考にしてもよいです。

$$\text{達成指数} = \frac{\text{評価値}}{\text{目標値}}$$

※評価値：事後評価に用いる値、目標値：事後評価時に目標として設定した値

※達成指数が1の場合に目標が達成され、1より離れるに従い、目標を達成している（判定＝○）、又は目標を達成していない（判定＝△又は×）という意味になります。

※指標の性格や目標の設定の仕方により達成指数の解釈が異なるので、達成指数によって目標の達成・未達成を判別する場合には注意が必要です。例えば、近年増加基調である事故発件数の減少を指標として設定している場合は、値が1よりも小さいほど目標を大きく達成していると解釈できます。

※目標値が0の場合等においては、適宜、式を定義してよいです。

- ・この「達成指数」は、あくまでも市町村が「達成度」（○、△、×）を判定するための参考となる考え方であり、必ずしも指標の数値を添付様式に記入したり、公表する必要はありません。「達成指数」を用いて判定を行うかどうかについても市町村の任意です。

- ・都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況、数値目標以外の効果発現状況の結果は、今後のまちづくり方策の作成の中で改善策を追加作成すべきか否かの判断材料となります。

（出典：まちづくり交付金 評価の手引き（国土交通省））

## 指標 1：今庄観光ボランティアガイド協会ガイド案内客数

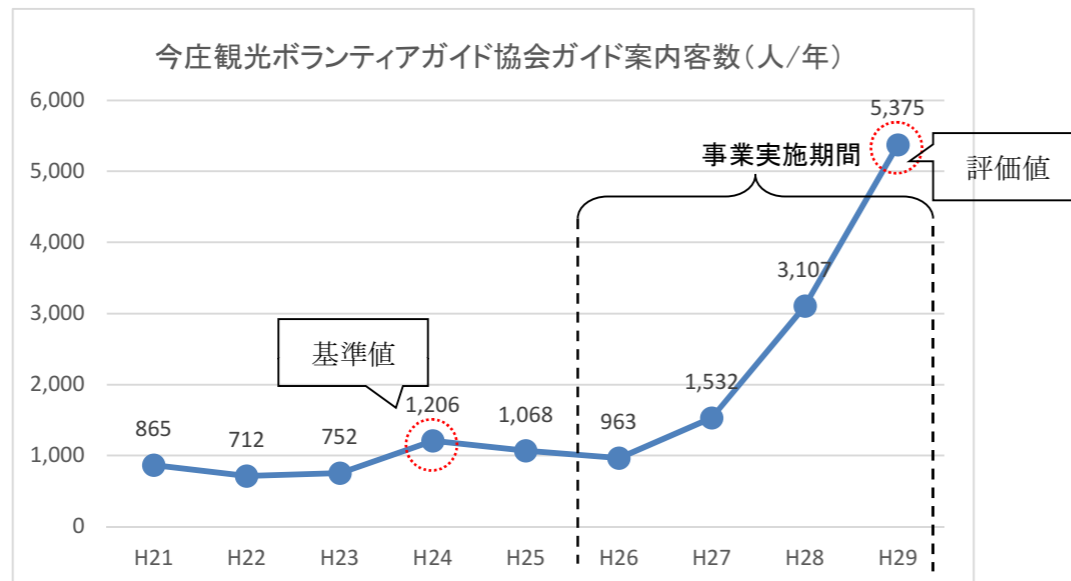
| 従前値<br>(24年度) | 目標値<br>(29年度) | 評価値<br>(H30.3.31) | 目標<br>達成度 | 1年以内の<br>達成見込 |
|---------------|---------------|-------------------|-----------|---------------|
| 1,206人/年      | 1,400人/年      | 5,375人/年          | ○         | —             |

|             |  |
|-------------|--|
| 指標の定義       | 年度毎に報告される今庄観光ボランティアガイド協会の報告によるガイド案内客数      |
| 評価値の<br>求め方 | 平成29年度の実績値を、評価基準日【平成30年3月31日】の評価値（確定値）とする。 |

【背景】今庄宿は、宿場として越前で最も繁栄したところで、江戸時代中期以降には商用や京への寺参り、伊勢参り等の旅人の宿泊が急増し、繁忙を極めた天保年間(1830~44年)には戸数が290余りあり、旅籠屋55軒、茶屋15軒、娼家2軒、縮緬屋2軒、鳥屋15軒などがあった。現在でも江戸時代から続く旅籠や造り酒屋(現在でも4件が創業)が残っており、伝統的民家群保存活用推進地区に指定されているが、人口・世帯数の減少や高齢化の進展により、空き家・空き地の増加が著しく、特に袖卯建や登り梁に代表される伝統的な民家が除却され固有の町並み景観が崩れ始めている。

### 【目標達成度に関する検証】

上記のような背景のもと、平成25年に住民主体の「今庄宿プロジェクト」を立ち上げ、歴史と風土に育まれた固有の地域資源を最大限に活かし、魅力ある個性的な観光地としてのグレードアップによる地域の活性化推進を目的とした景観づくりや情報発信等の取組みを推進し、併せて旅行会社と連携しツアーの行程ルートに設定するなどの取組みを展開しました。その結果、北国街道今庄宿の歴史や文化、町並み等に関心を持つボランティアガイドによる案内客数が増加し、目標を達成することができました。



目標達成度  
に関する  
検証

### 【指標との関連性がある事業】

#### 《北国街道高質化整備事業、路地空間高質化整備事業》

道路舗装や落ち着いたデザインの外灯整備により、かつての宿場町らしい景観づくりを行いました。



(改修前)



(改修前)



(改修前)



(改修後)

▲北国街道の道路舗装



(改修後)

▲外灯の入替



(改修後)

▲路地空間の道路舗装

#### 《公徳園修景整備事業、昭和会館改修整備事業》

貴重な文化財である明治殿がある公徳園や昭和会館の修景整備により、風格ある景観づくりを行いました。



(改修前)



(改修前)



(改修前)



(改修後)

▲公徳園



(改修後)

▲昭和会館



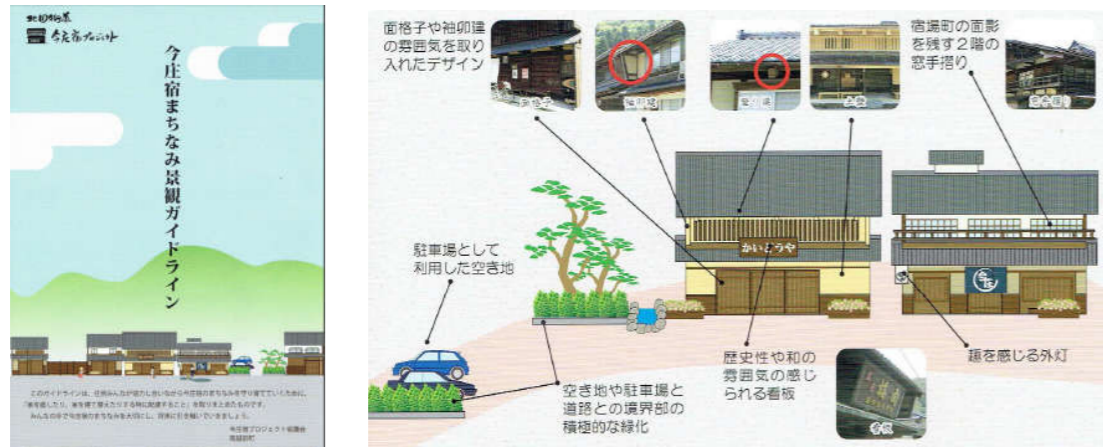
(改修後)

▲静心閣



《今庄宿町並み景観ガイドライン策定事業》

今庄宿地区のまちなみを守り育てていくためのルールづくりを行いました。



▲今庄宿まちなみ景観ガイドライン

《看板類整備事業》

観光案内や誘導、説明案内看板、常夜灯を統一したデザインで設置しました。



▲歓迎案内



▲誘導



▲説明案内



▲常夜灯

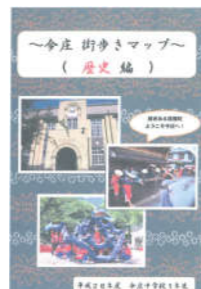
《常夜灯設置事業》

《地域主体情報発信プロジェクト事業》

今庄中学校の学生が「歴史編」、「食べ物編」、「酒 そば編」の3部構成で来訪者向けの街歩きマップを作成しました。



▲マップ作成研究の様子



街歩きマップ(歴史編)



街歩きマップ(食べ物編)



街歩きマップ(酒 そば編)

《ふくいの伝統的民家指定促進事業》《既存建築物等改修整備支援事業》

県では、所有者の申請に基づき「ふくいの伝統的民家」の認定を行っており、補助金の交付制度が設けられています。今庄宿地区では、27件(事業期間内26～29年度で9件)認定されています(平成29年度末時点)。そのほかに町では、既存建築物の「今庄宿まちなみ景観ガイドライン」に基づく外観や構造体の工事に対し助成制度を設け、平成27～29年度は8件の改修が行われました。



▲ふくいの伝統的民家



▲ガイドラインに基づく改修工事

《空き家活用事業》

今庄地区の伝統的建築様式を持つ空き家を改修し、地域活性化のために活用しています。



(改修前)▲齋藤家改修



(改修後)▲古民家レストランとしてオープン



▲ふくいの伝統的民家を若い担い手とともに改修  
改修工程において地域の学生に参加してもらい、伝統的建築様式工法の学習の場としました。



▲若狭屋をイベントホールとして活用  
文化講習会や落語会、演奏会等、様々なイベント会場として、また平成29年度からは蕎麦屋が週2回程度営業を行うなど、地域の交流拠点としての活用がひろがっています。



旧山田屋外観



カフェとして活用されている

▲旧山田屋の“coffee&bread 木ノ芽”は、今庄宿の集客に大きく貢献しており、また、地域住民(特に高齢者)の交流の場としても活用されています。



旧西山家



高野家(大黒屋)

▲解体を余儀なくされた伝統的民家を保存し、活用に向けて改修を行いました。

## 指標 2 : JR 今庄駅乗車人員

| 従前値<br>(24年度) | 目標値<br>(29年度) | 評価値<br>(H30.3.31) | 目標<br>達成度 | 1年以内の<br>達成見込 |
|---------------|---------------|-------------------|-----------|---------------|
| 185人/日        | 210人/日        | 162人/日            | ×         | —             |

|         |  |
|---------|--|
| 指標の定義   | 年度毎に西日本旅客鉄道株式会社が公表する JR 今庄駅乗車人員                    |
| 評価値の求め方 | 平成 29 年度の実績値を、評価基準日【平成 30 年 3 月 31 日】の評価値（確定値）とする。 |

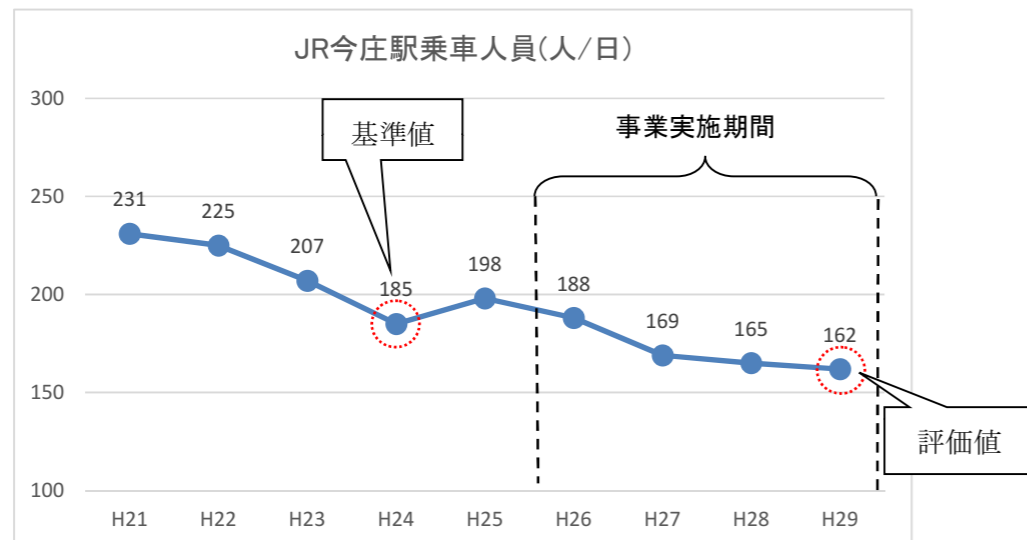
目標達成度  
に関する  
検証

### 【目標の達成度に関する検証】

今庄宿の周知拡大による JR 今庄駅乗車人員の増加に向けて、「駅舎改修整備事業」「駅前広場整備事業」を行い、鉄道のまち、宿場町としての情報発信や企画を積極的に展開しました。また、今庄宿の地域活性化と併せて移住定住人口増加促進を目的として、「教職員住宅リノベーション事業」では、居住応募条件に「今庄地区への移住者」「今庄宿の保全や育成に関わる人」に優先性を持たせるものとししました。実際に居住者は今庄宿の活性化に貢献しています。しかし、指標である鉄道利用者を増加させる直接的な事業が実施されなかったことから、目標を達成することができませんでした。

### 【目標を達成できなかった理由】

取組みの結果、今庄宿としての認知度は上がり、町への来訪客も増加しています。しかし来訪客増加の内容として、旅行会社との連携により旧北陸線廃線跡の鉄道遺産を巡るウォーキングツアー等のコースに宿場町や宿の市等のイベントを組み込んだ効果が大きく、その結果、貸切バス等での観光客が増加し、駅舎や駅前広場の利用者は増加したものの、鉄道利用者数の増加には繋がらなかったと考えられます。



### 【指標との関連性がある事業】

《JR 今庄駅舎改修整備事業、JR 今庄駅前広場整備事業》



(改修前)



(改修前)



(改修前)



(改修後)

▲JR 今庄駅舎の改修



(改修後)

▲駅前広場の整備



(改修後)

▲JR 今庄駅舎併設の今庄まちなみ情報館の整備

### 《教職員住宅リノベーション事業》

既存の教職員住宅を町営住宅「きとっけハウス今庄」にリノベーションし、居住者の募集の際には、今庄地区への移住者、今庄宿の保全や育成に関わる人が優先的に入居できる条件を設けました。



▲きとっけハウス今庄

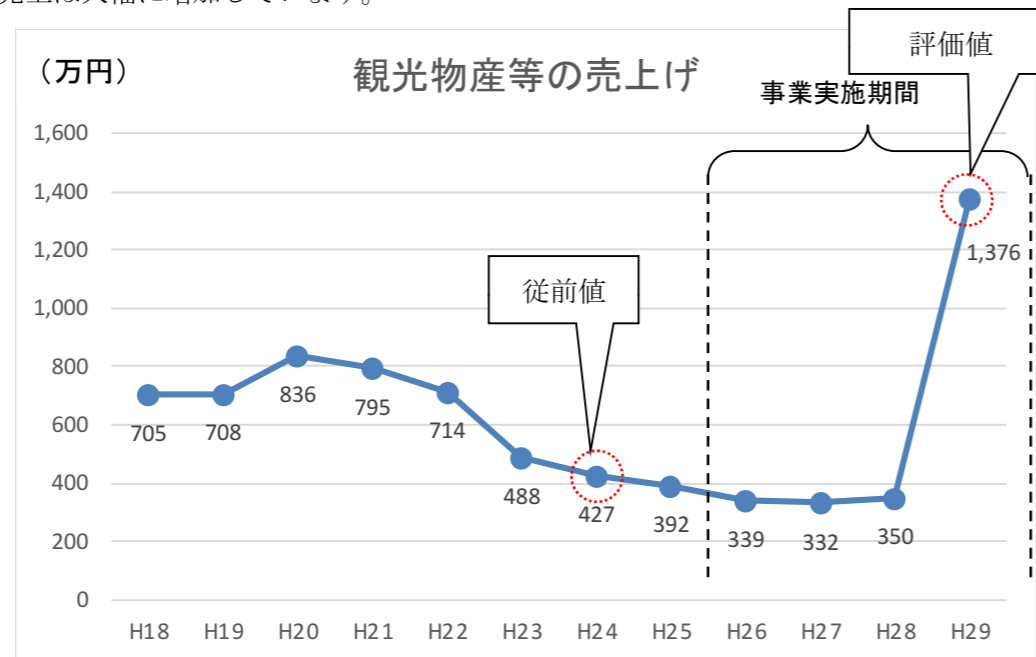


## その他の数値指標：JR 今庄駅内物産販売の売上げ

|               |                   |
|---------------|-------------------|
| 従前値<br>(24年度) | 評価値<br>(H30.3.31) |
| 427万円         | 1,376万円           |

### 【その他の指標の効果発現状況】

駅周辺の整備事業や、土産物の開発など誘客のための取組みの成果として、駅構内の物産販売の売上は大幅に増加しています。



目標達成度  
に関する  
検証

### 《地域資源活用イベント事業》

今庄宿プロジェクト協議会が、地酒とソバを生かした菓子を開発し、誘客拡大や魅力発信につながっています。

さらに、今庄中学校の3年生が修学旅行先で菓子を販売し、他の特産品のPRも行いました。

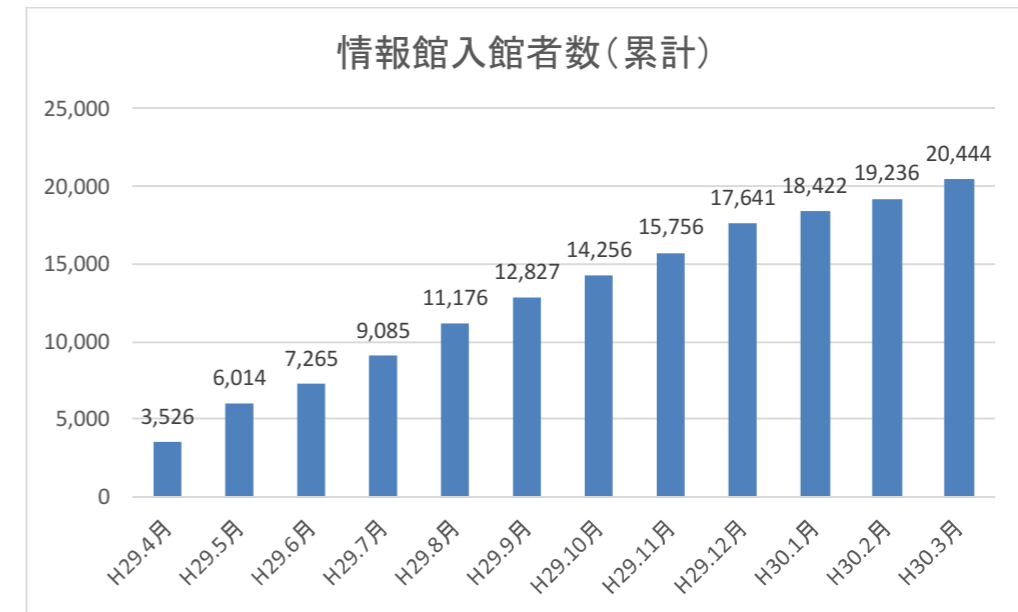


▲蔵のかしゅていら、そばっこ



### 参考【その他の効果発現状況】

JR 今庄駅舎改修整備事業、JR 今庄駅前広場整備事業に併せて、イベントの開催や情報発信等、誘客のための取組みの成果として、平成 29 年 3 月末のオープン以降、駅舎に併設の今庄まちなみ情報館入館者は増加しています。



▲今庄宿を紹介するパネル



▲今庄の鉄道の歴史を紹介するパネル



▲お土産販売の様子



▲鉄道のジオラマ模型

## 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

|        | 歴史文化継承事業   | 誘客促進体感プログラム<br>企画運営事業  | 地域資源活用イベント事業   | 地域主体情報発信プロジェクト事業   | 住まい・暮らしの場活用事業  | 事業マネジメント支援事業  | 町並み散策ベンチ整備事業   | 古道・ハイキングコース整備事業  |
|--------|--|--|--|--|--|---|--|--|
| 平成26年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>古文書等研究</li> <li>文化保存事業（今庄羽曾踊り映像のDVD化）</li> </ul>  <p>▲歴史講座</p>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>宿の市（2回）</li> <li>灯火プロジェクト（1回）</li> </ul>  <p>▲灯火プロジェクト</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>酒蔵フェス（1回）</li> </ul>  <p>▲酒蔵フェス</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ開設</li> <li>4施設観光案内パンフ作成（明治殿、昭和会館、若狭屋、京藤甚五郎家）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>まち歩き事業</li> </ul>  <p>▲まち歩き</p>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会運営</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>散策ベンチ製作事業（22基）</li> </ul>  <p>▲散策ベンチ</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>藤倉山の参加型ハイキングコースの整備</li> </ul>  <p>▲標識看板の設置</p> |
| 平成27年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>古文書等研究（古文書講座、古文書修復作業、古文書デジタル化）</li> <li>伝統文化保存事業（今庄宿古写真、鉄道古写真、映像のデジタル化）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>古文書研究</li> </ul>  <p>▲古文書研究</p>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>宿の市（8回）</li> <li>酒蔵フェス（1回）</li> <li>ワークショップ開催（プランター制作）</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成・管理</li> <li>旅の宿パネル作成</li> <li>景観美化活動</li> <li>シール制作</li> <li>中学生マップ印刷</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>お土産入ペーパーバッグ</li> <li>トートバッグ</li> </ul>  <p>▲お土産入ペーパーバッグ トートバッグ</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会運営</li> <li>ロゴマーク作成</li> </ul>  <p>▲ロゴマーク</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道整備</li> <li>標識看板設置（16箇所）</li> <li>史跡案内看板設置（2箇所）</li> <li>ネット柵整備</li> <li>樹木伐採景観整備</li> </ul>  |  |
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>年代録見聞記発行</li> <li>ビデオデジタル化</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>制作したプランター</li> </ul>  <p>▲制作したプランター</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>宿の市（5回）</li> <li>酒蔵フェス（2回）</li> <li>新商品開発（蔵のかしゆていら、今庄そばっこ）</li> </ul>  <p>茶飯キャラクター</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成・管理</li> <li>中学生マップ印刷</li> <li>パンフ制作（茶飯）</li> <li>お土産入ペーパーバッグ作成</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット制作（今庄宿寺社仏閣散策ガイド）</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会運営</li> <li>ロゴマーク作成</li> </ul>  <p>▲ロゴマーク</p> |  |  |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>年代録見聞記発行</li> <li>ビデオデジタル化</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>宿の市</li> </ul>  <p>▲宿の市</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>宿の市（7回）</li> <li>酒蔵フェス（1回）</li> <li>新商品開発（酒粕アイス）</li> <li>フリーマーケット開催（1回）</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成・管理</li> <li>お土産入トートバッグ作成</li> <li>旧齋藤家、今庄宿リーフレット制作</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット制作（神社仏閣散策ガイド）</li> </ul>                                   |    |  |  |

### 【効果発現状況】

- ふくいの伝統的民家の指定や、町並みの景観を守り育てていくためのルールに基づく既存建物の外観や構造物の修景に助成制度を設けることにより、センスの良い町並みの醸成とともに、町並み保存の機運が高まりました。
- 伝統的建造物が取り壊される前に模型を製作し、価値づけと保存を行うことができました。また、解体されるという情報を早期に収集することにより、所有者を説得し解体を免れた案件もありました。
- 古文書・古フィルムをデジタル化することにより、大切な地域資源を次世代に継承していくために、半永久的に保存管理することが可能となりました。
- 地域資源を活用したイベントを継続的に実施し定着していくことで、地域に賑わいが創出され、さらに地域住民全体でお客様をおもてなしするという機運が高まりました。街道沿いのベンチ配置は、訪れる人への配慮やゆとりのある趣を醸し出しています。
- 酒蔵フェスを新たなイベントとして誕生させたことで、酒蔵含め今庄宿の一体感をもたらすきっかけをつくることができ、さらに統一したロゴ文字、マークの作成は地域の一体感形成に繋がりました。
- 地域の食を生かした新商品を開発し、土産物として販売することにより、地域の食文化の認知度アップに繋がりました。さらにロゴマークを使用したペーパーバック等の作成・使用により土産物のグレードアップを図ることができました。
- 住民主体のまちづくりによる継続的な協議会運営により、自主性・責任感を醸成することができ、協議会を継承する一般社団法人を設立することができました。また、地域住民の郷土愛の醸成と、次世代への町並み保存の継承が図られました。

# 4 実施過程の評価

・平成 25 年度の都市再生整備計画策定段階から住民主体で「今庄宿プロジェクト」を立ち上げ、平成 25 年度は計画策定、平成 26 年以降は事業実施のための取組みを推進しました。  
 具体的な取組みについては、5つの目標を定め、専門部会(当初は5つ)が中心となって目標を達成するために活動しました。

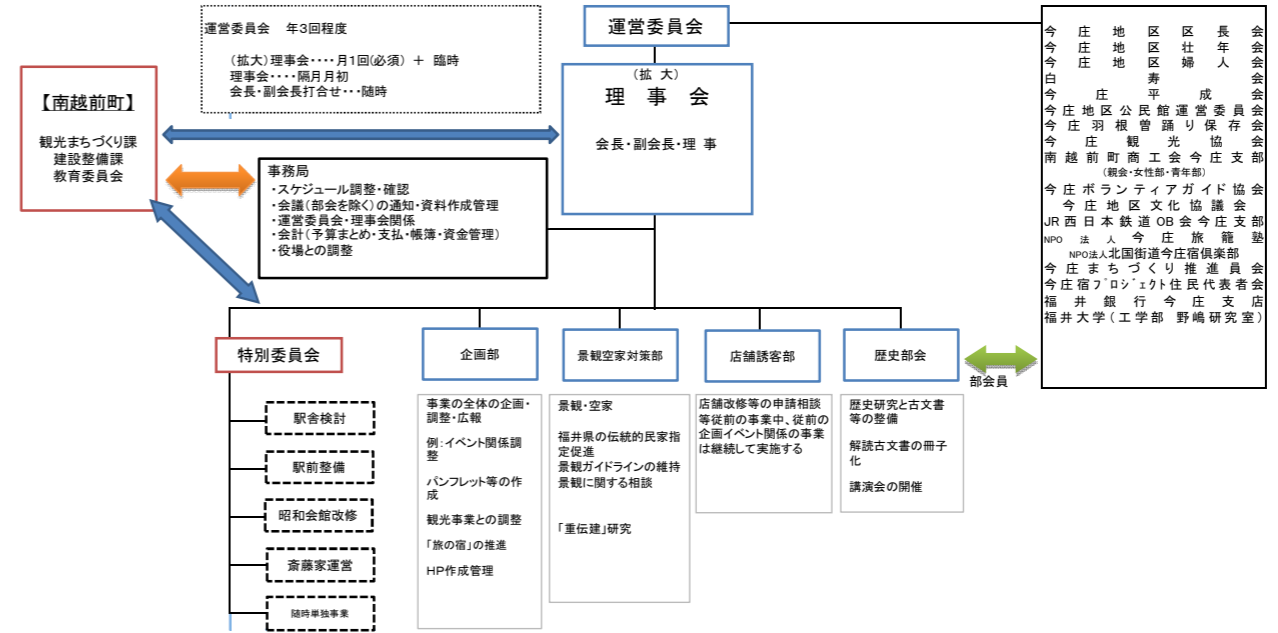
### 【今庄宿プロジェクト5つの目標】

- ① 町並みを守る
- ② センスよく町並みを整える
- ③ 歴史・文化を次世代に伝える
- ④ 戦略的に来訪者を呼び込む
- ⑤ 効果的に情報を発信する



### 【今庄宿プロジェクトの組織図】

・「今庄プロジェクト協議会」は、住民で組織される専門部会(平成 26 年度から 3 部会)、その代表者会で構成される運営委員会と関連各種団体、事務局、庁内検討会議が連携しながら取組みを展開しました。



住民参加  
プロセス

### 【取組み状況】(平成 25 年度)

| 会議名称         | 回数                  |
|--------------|---------------------|
| A.観光まちなみ推進会議 | 4回 (H25.6月~H25.11月) |
| B.住民代表者会     | 14回 (H25.3月~H26.2月) |
| 運営委員会設立会議    | 1回 (H26.3月)         |
| 専門部会         |                     |
| 景観部会         | 5回 (H25.6月~H25.9月)  |
| 店舗部会         | 7回 (H25.6月~H26.1月)  |
| 歴史部会         | 12回 (H25.6月~H26.2月) |
| 誘客部会         | 6回 (H25.6月~H26.2月)  |
| 空家部会         | 6回 (H25.6月~H25.9月)  |
| 横断的検討会       | 2回 (H25.10月)        |
| C.庁内検討会議     | 5回 (H25.5月~H26.2月)  |

### (平成 26 年度)

| 会議名称         | 回数                  |
|--------------|---------------------|
| 運営委員会        | 11回 (H26.4月~H27.3月) |
| 理事会          | 23回 (H26.5月~H27.3月) |
| 庁内検討会議       | 3回 (H26.5月~H26.10月) |
| 住民説明会等       | 3回 (H26.6月~H26.10月) |
| 景観ガイドライン策定会議 | 4回 (H26.7月~H26.9月)  |
| 専門部会         |                     |
| 景観空家部会       | 14回 (H26.5月~H27.3月) |
| 店舗誘客部会       | 18回 (H26.5月~H27.3月) |
| 歴史部会         | 13回 (H26.4月~H27.3月) |
| 3部会合同会議      | 3回 (H26.1月~H27.3月)  |

### (平成 27 年度)

| 会議名称     | 回数                  |
|----------|---------------------|
| 運営委員会    | 8回 (H27.5月~H28.3月)  |
| 理事会      | 20回 (H27.4月~H28.3月) |
| 庁内担当者連絡会 | 9回 (H27.4月~H28.2月)  |
| 専門部会     |                     |
| 景観空家部会   | 12回 (H27.4月~H28.3月) |
| 店舗誘客部会   | 19回 (H27.4月~H28.3月) |
| 歴史部会     | 16回 (H27.4月~H27.2月) |

### (平成 28 年度)

| 会議名称       | 回数                  |
|------------|---------------------|
| 運営委員会      | 3回 (H28.5月~H29.3月)  |
| 理事会        | 15回 (H28.4月~H29.3月) |
| 庁内担当者連絡会   | 5回 (H28.5月~H28.9月)  |
| 旅の宿 今庄 夢乃舎 | 15回 (H28.4月~H29.3月) |
| 専門部会       |                     |
| 景観空家部会     | 10回 (H28.4月~H29.3月) |
| 店舗誘客部会     | 17回 (H28.4月~H29.3月) |
| 歴史部会       | 9回 (H28.4月~H29.3月)  |

### (平成 29 年度)

| 会議名称       | 回数                  |
|------------|---------------------|
| 運営委員会      | 2回 (H29.6月~H30.3月)  |
| 理事会        | 13回 (H29.5月~H30.3月) |
| 庁内担当者連絡会   | 1回 (H29.6月)         |
| 旅の宿 今庄 夢乃舎 | 8回 (H29.4月~H29.11月) |
| 専門部会       |                     |
| 景観空家部会     | 11回 (H29.4月~H30.3月) |
| 店舗誘客部会     | 16回 (H29.4月~H30.3月) |
| 歴史部会       | 14回 (H29.6月~H30.3月) |

### 【平成 30 年度以降のまちづくり体制】

・「今庄プロジェクト協議会」は、計画期間終了に伴い平成 30 年 3 月をもって解散しました。  
 今後は、この 4 年間の活動を活かした今庄宿のさらなる発展が必要であることから、今庄宿プロジェクト協議会を継承する目的で設立された「一般社団法人 旅の宿 今庄 夢乃舎」が、旧齋藤家の施設運営とともにこれまでの企画部と店舗誘客部の取組みを中心となって推進します。  
 また、今庄宿の町並み保全と今庄の文化の保存、保全、継承に関する事業推進により今庄地区の活性化および住民主体の自立したまちづくりに寄与することを目的として平成 22 年 8 月に設立された「NPO 法人 今庄旅籠塾」と、今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区選定のための調査および選定後の町並み保存を推進するために平成 30 年 5 月に設立された「今庄宿まちづくり推進協議会」が、これまでの景観空家対策部、歴史部会の取組みを中心となって推進します。  
 このように、地域のまちづくり団体が、今庄宿の歴史文化や伝統的民家群を保存、活用することで、今庄宿の「まちなみ保全」と「にぎわい創出」を一体的に推進するための持続的なまちづくり体制の構築を図ります。

持続的な  
まちづくり  
体制の構築



▲旧齋藤家を古民家レストランとして運営  
(一般社団法人 旅の宿 今庄夢乃舎)

# 5 効果発現要因の整理

| 大目標：北国街道今庄宿の町並みを守り、センス良く整えつつ、戦略的に来訪者を呼び込む取り組みを住民主体で進める「心をつなぐ、歴史の足跡とおだやかな時の流れを感じるまちづくり」 |  |                               |   |  |   |   |   |   |               |  |
|--|--|-------------------------------|---|--|---|---|---|---|---------------|--|
| 目標と指標の関連性  | 目標1：固有の町並みを守り、センス良く整え、次世代に歴史と文化を継承する   | ★                             | ★   | ★  | ★   | ★   | ★   | ★   | ★             |  |
|  | 目標2：特徴を最大限に活かして来訪者を呼び込む  | ★                             | ★   | ★  | ★   | ★   | ★   | ★   | ★             |  |
|  | 目標3：実現に向けて戦略的に施策展開を行う  | ★                             | ★   | ★  | ★   | ★   | ★   | ★   | ★             |  |
| 目標達成度  | ○：評価値が目標値を上回った場合<br>△：評価値が目標値に達していないが、近年の傾向より改善している場合<br>×：評価値が目標値に達しておらず、近年の傾向よりも改善が見られない場合 | 指標1<br>今庄観光ボランティアガイド協会ガイド案内客数 |   | 指標2<br>JR今庄駅乗車人員   |   | その他の数値指標<br>JR今庄駅内物産販売の売上げ  |   |   |               |  |
|  |  | ○                             |   | ×  |   |   |   |   |               |  |
| 種別   | 事業名・箇所名  | 指標改善への貢献度                     | 指標改善への貢献度の考え方   | 指標未達成への影響度   | 指標未達成への影響度の考え方  | 指標改善への貢献度   | 指標改善への貢献度の考え方   | 指標改善への貢献度   | 指標改善への貢献度の考え方 |  |
| 基幹   | ①看板類整備事業   | 完成                            | ○   | 【指標改善への貢献度「◎」の考え方】<br>・今庄宿や鉄道遺産等の歴史・文化についての講演会、まち歩きやイベント等の開催、情報発信により、北国街道今庄宿の歴史や文化、町並み等に関心を持つ来訪者が増加した。それらが指標を達成することとなった直接的な要因と考え「◎」とした。<br><br>【指標改善への貢献度「○」の考え方】<br>・今庄宿の景観向上や特徴ある資源の活用などによって地域全体の魅力を高め、またそれらを活かしたイベントの開催等の相乗効果が、間接的に効果があったと考え「○」とした。   | ×   | 【指標未達成への影響度「×」の考え方】<br>・「鉄道のまち」「宿場町」今庄としての認知度は上がり、町への来訪客も増加しているため、一定の効果はあったと考えられる。しかし、「JR今庄駅の乗車人員の増加」といった指標の目標の達成には至らず、また、近年の傾向においても改善が見られないため「×」とした。 | ○   | 【指標改善への貢献度「◎」の考え方】<br>・JR今庄駅舎改修や駅前広場整備により、今庄宿や鉄道の歴史に関する情報館への来客が増加したことや、土産物としての新商品開発や観光客が必ず立ち寄り寄る施設に位置付けていることから、売り上げの増加に繋がった直接的な要因と考え「◎」とした。<br><br>【指標改善への貢献度「○」の考え方】<br>・今庄宿の景観向上や特徴ある資源の活用などによって地域全体の魅力を高め、また、それらを活かしたイベントの開催等の相乗効果が、間接的に効果があったと考え「○」とした。 | ○             | 【指標改善への貢献度「○」の考え方】<br>・今庄宿の景観向上や特徴ある資源の活用などによって地域全体の魅力を高め、また、それらを活かしたイベントの開催等の相乗効果が、間接的に効果があったと考え「○」とした。 |
|  | ②北国街道高質化整備事業(北国街道他1路線)   | 完成                            | ○   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
|  | ③路地空間高質化整備事業(町道今庄寺道線他2路線)  | 完成                            | ○   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
|  | ④JR今庄駅前広場整備事業(JR今庄駅周辺)   | 完成                            | ○   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
|  | ⑤常夜灯設置事業広場整備(文政の道線周辺)  | 完成                            | ○   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
|  | ⑥公德園修景整備事業(日本陣跡)   | 完成                            | ◎   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
|  | ⑦JR今庄駅舎改修整備事業  | 完成                            | ○   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
|  | ⑧昭和会館改修整備事業  | 完成                            | ◎   |  | ×   |   | ○   |   |               |  |
| 提案   | ①ふくいの伝統的民家指定促進事業   | 完成                            | ○   | ×  | 鉄道利用者は増加していないため×<br>⇒しかし、駅利用者は増加している！<br><br>来訪者は増加！<br>バスツアー客の増加が大きい！<br>⇒戦略的に来訪者を呼び込むという大目標は概ね達成！   | ○   | 売上げは3倍に増加！<br>駅周辺の整備、情報発信、新商品開発等が、誘客拡大に繋がった！              |   |               |  |
|  | ②空き家活用事業   | 完成                            | ◎   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ③古道・ハイキングコース整備事業   | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ④教職員住宅リノベーション事業  | 完成                            | -   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑤既存建築物等改修整備支援事業  | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑥町並み散策ベンチ整備事業  | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑦今庄宿町並み景観ガイドライン策定事業  | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑧住まい・暮らしの場活用事業   | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑨歴史・文化継承事業   | 完成                            | ◎   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑩誘客促進体験プログラム企画・運営事業  | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑪地域資源活用イベント事業  | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑫地域主体情報発信プロジェクト事業  | 完成                            | ◎   | ×  |   |   |   |   |               |  |
|  | ⑬事業マネジメント支援事業  | 完成                            | ○   | ×  |   |   |   |   |               |  |
| 【指標改善への貢献度(達成度が○の場合)】  | ◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した   | 総合所見                          | 北国街道今庄宿の景観や町並みの向上、貴重な財産である文化財や伝統的民家等の維持・改修・活用の取組みを推進しました。今庄宿プロジェクトの目標のもとに展開された多くの取組みが、相乗効果となって来訪者の増加に繋がったと考えられます。また、住民主体の「今庄宿プロジェクト協議会」を立ち上げ、地域住民や関係団体が密接に関わることで、地域の財産を再認識し、地域への愛着や誇りの醸成に繋がったと考えられます。 | 今庄駅や駅周辺の改修に併せて、鉄道のまち、宿場町の歴史・文化・魅力の発信機能の向上を図りました。来訪客増加の要因としては、旅行会社と連携し旧北陸線廃線跡の鉄道遺産を巡るウォーキングツアーのコースに宿場町や宿の市等のイベントを組み込んだことによる効果が大きく、その結果、貸切バス等での観光客が増加し、駅周辺の利用者は増加したものの、鉄道利用者数の増加には繋がらなかったと考えられます。また、今庄宿の地域活性化と移住定住人口増加促進を目的とした「教職員住宅リノベーション事業」においても、実際に居住者は今庄宿の活性化に貢献しており、地域活性化のための人材確保に繋がっています。数値指標の「鉄道利用者数の増加」には直接繋がらなかったものの、大目標は達成されたと考えられます。 | 今庄駅や駅周辺の改修に併せて、鉄道のまち、宿場町の歴史・文化・魅力の発信機能の向上を図りました。また、今庄宿プロジェクト協議会が、地元の特産物を生かした菓子を開発し、誘客拡大や魅力発信に繋がっています。さらに、地元の中学生在が修学旅行先で菓子を販売し、他の特産品のPRを行うなど、地域の子供たちへの地域文化継承、地域への愛着や誇りの醸成に繋がったと考えられます。 |   |   |   |               |  |
|  | ○ 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した   |                               |   |  |   |   |   |   |               |  |
| 【指標未達成への影響度(達成度が△、×の場合)】   | ×× 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった直接的な原因となった  | 今後の活用                         | ・本計画をきっかけに始まったイベントや企画を継続させ、発展させていくことにより、さらなる地域の魅力向上、情報発信を推進します。<br>・まちづくり体制や取組過程においてうまくいったところ又は改善点を検証し、今後の取り組みに活用するとともに、まちづくりへの地域住民等の参加や協働体制の強化により地域活性化を推進していきます。                                     | 【改善方針】   | ・イベントや情報発信内容の設定の際には、鉄道利用に繋がる企画を組み込み、鉄道利用者数の増加を図ります。<br>・空き家、空き地や地域資源を活用し、歴史的建造物や景観の保全を図るとともに、今庄地区における定住人口や交流人口の増加を図ります。   |   |   |   |               |  |
|  | × 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった間接的な原因となった   |                               |   |  |   | 【今後の活用】   | ・ツアー客を呼び込むための旅行商品の企画開催や、土産物等の開発によりさらなる地域の魅力向上、情報発信を推進します。 |   |               |  |
|  | △ 目標は達成していないが、指標の改善には貢献した  |                               |   |  |   |   |   |   |               |  |
|  | - 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない   |                               |   |  |   |   |   |   |               |  |

## 6 今後のまちづくり方策の検討

| 都市再生整備計画の課題                     | 達成状況   | 継続的な課題  | 想定される事業  |
|---------------------------------|--|---|--|
| 空き家・空き地の増加、伝統的民家の減少、固有の町並み景観の喪失 | <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の新築や改築時に北国街道今庄宿の町並み計画に配慮すべきルール「今庄宿まちなみ景観ガイドライン」を定めました。</li> <li>ガイドラインに基づく改築を行う建物に対し支援を行いました。</li> <li>伝統的民家の指定を継続して行い、指定した民家への改修に対する支援を行いました。</li> <li>伝統的な建築物の空き家を改修し、古民家レストランとして再生活用を図りました。</li> <li>伝統的な建築物の調査、古文書の研究等を行い、またその内容について教育学習への展開、情報発信を行いました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家・空き地の増加</li> <li>伝統的民家の減少、固有の町並み景観の喪失</li> </ul>    | <p>【想定される取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふくいの伝統的民家指定促進</li> <li>空き家情報バンク登録の推奨</li> <li>重伝建の選定に向けた取組み</li> <li>伝統的建築物の空き家活用への支援</li> <li>空き地を活用した交流拠点創出のための取組みの強化への支援</li> </ul>  |
| 人口・世帯数の減少、移住希望者とのネットワークづくり      | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員住宅のリノベーションにより、今庄宿に関心を持つ人材の確保に繋がりました。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>人口・世帯数の減少</li> <li>移住希望者とのネットワークづくり</li> </ul>         | <p>【想定される取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今庄の暮らしの魅力を高め、伝える取組みの強化</li> <li>重伝建の選定に向けた取組み</li> <li>地域おこし協力隊との連携</li> </ul>  |
| 次世代への歴史・文化の継承                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今庄宿プロジェクトでは地元の中学生在が街歩きマップ作成に関わるなど、今庄宿の教育学習の場としての活用を図りました。</li> <li>「地酒」「そば」などの地域の食を活かした菓子を土産物として開発し、地域の食文化の認知度アップに繋がりました。</li> <li>今庄宿プロジェクトでは、小学校での地域を学ぶ授業に参画し、小学生に今庄の歴史や文化を学んでいただきました。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>次世代への歴史・文化の継承</li> </ul>                               | <p>【想定される取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史・文化継承事業</li> <li>地域資源活用イベント（街道浪漫 今庄宿）への支援</li> <li>今庄羽根曾踊り継承の強化への支援</li> <li>観光ボランティアガイドの育成および新規人材確保に向けた取組みへの支援</li> <li>小中学校の地域を学ぶ授業に継続して参画への支援</li> </ul>   |
| 来訪者の呼び込み、質の高い誘客の展開、戦略的な情報発信     | <ul style="list-style-type: none"> <li>今庄まちなみ情報館の整備や、宿の市や酒蔵フェスなどの今庄宿でのイベント企画により、来訪者の増加を図りました。</li> <li>ガイドブックの作成や旅行会社と連携したツアーの開催など、戦略的に情報発信を行いました。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者の呼び込み、質の高い誘客の展開</li> <li>戦略的な情報発信</li> </ul>        | <p>【想定される取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ツアー客を呼び込むための旅行商品の企画、開催および今庄宿の宿泊を想定した滞在型観光の推進</li> <li>重伝建の選定に向けた取組み</li> <li>観光案内 QR コードの設置（多言語化対応）</li> <li>道路高質化のメンテナンス</li> <li>宿内をカバーする Wi-Fi 整備</li> <li>鉄道遺産の活用</li> <li>定期的な宿の市の開催への支援</li> <li>地域資源活用イベント（街道浪漫 今庄宿）への支援</li> <li>まち歩き散策ルート作成への支援</li> <li>土産物の商品開発への支援</li> <li>観光ボランティアガイドの育成および新規人材確保に向けた取組みへの支援</li> <li>地域情報のかわら版の発行への支援</li> </ul> |
| 永続的な住民主体のまちづくり活動の展開と組織体制づくり     | <ul style="list-style-type: none"> <li>住民や関係団体が密接に関わり、積極的に具体的な取組みを推進することで、まちづくり活動体制モデルの構築を図ることができ、事業終了後に継続して取組みを推進する体制の確立に繋がりました。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>永続的な住民主体のまちづくり活動の展開と組織体制づくり</li> <li>継承者の育成</li> </ul> | <p>【想定される取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土愛の醸成と次世代育成</li> <li>地域住民のまちづくりへの参加や協力体制構築のための取組みの強化への支援</li> </ul>  |